

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	6109 日本／世界写真史			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	金曜3限				
教室	J103教室				
代表教員	野々村 文宏				
担当教員	野々村 文宏				
テーマと到達目標	日本写真史と世界写真史を隔年、交互にやる。今年是世界写真史。写真家になりたい人だけではなく、グラフィックデザイナー、編集者やメディア関係者になりたい人のための専門に行く前の下敷きとなるので、1、2年生のうちに取っておくことがのぞましい。だいたい50人足らずの写真家が登場するだろう。もちろん、去年、日本写真史の単位を取った人は歓迎。今年、この単位を取って興味を持った人は、来年の日本写真史も取ろう。				
概要	時代と地域を見据えつつ、毎回、3～4名の写真家について扱う。その時代の写真芸術の潮流、写真機との関係、メディアとの関係もふくめて考えていく。写真についての有名なエッセイ、論考も紹介する。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	カメラ・オブスクラ。写真の誕生。『自然の鉛筆』。複製技術時代の芸術。				対面授業
第2回	フォトグラム、フォトモンタージュ。パウハウス、ロシア構成主義などの実験。				対面授業
第3回	絵画の模倣からの脱出。ステイーグリッツのストレート・フォトグラフィ。				対面授業
第4回	ライカの誕生。コダックの発明。都市とスナップ写真。プレッソン。				対面授業
第5回	マーガレット・バーク＝ホワイトとグラフ雑誌『LIFE』の時代。報道写真集団マグナム。				対面授業
第6回	エドワード・スタイケンと『人間家族展』。写真のヒューマニズムとその限界。				対面授業
第7回	ロバート・フランク『アメリカ人』。スナップショットの美学。ウィリアム・クライン。				対面授業
第8回	郊外。ニュー・ランドスケープ。暗い処へ。ダイアン・アーバス。				対面授業
第9回	ベッヒャーとデュッセルドルフ美術学校。タイポロジー。現代美術としての写真。				対面授業
第10回	ロバート・メイブルソープと検閲。ナン・ゴールデンの親近性。				対面授業
第11回	私は誰？ シミュレーションイズム。シンディ・シャーマンとセルフポートレート。				対面授業
第12回	構築された風景。大判写真。ジェフ・ウォール、グレゴリー・クリュードソン。				対面授業
第13回	拡張されるイメージ。デジタル技術と写真の解体。				対面授業
第14回	写真とアーカイヴ コレクション				対面授業
第15回	マーベリック（一匹狼）。写真史上の潮流に乗ることがない写真家たち。				対面授業
成績評価の基準	欠席は原則3回まで。最後に1600字～2000字のレポート提出。締め切りは厳守。授業中の私語は厳禁。				
履修にあたっての留意事項	大学の行動制限コードが厳しくなった場合には、リモート授業に移行しますが、基本は対面授業です。対面を重視します。zoom電子会議システムは使えること。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	飯沢耕太郎・編『カラー版 世界写真史』美術出版社	教科書(ISBN)	
参考文献	多数。その都度、紹介、指示する。	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--